

もっと安心農産物 レタス (露地冬どり) 栽培暦 (令和5年度) JAきみつ

- 1. 土づくり ☆完熟堆肥投入を実施する
- 2. 施肥 ☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守 (①・②の肥料を1つ選択する)  
☆化学合成肥料10aあたり12kgまで

	肥料名	施肥量
基肥	① スーパーマイルド086号(10-8-6) (有機態窒素 6.1)	250kg以下
	② ゆうき日和084(10-8-4) (有機由来窒素5)	240kg以下
	③ 味好2号(7-2-7) (有機由来窒素7)	100kg以下
基肥	苦土石灰 (土壌診断にもとづいて施用する)	100kg以下

3. 防除 化学合成農薬：9成分回数までエスマルクDF、スラゴは回数に含まれません

月	管理作業	病虫害の発生推移	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病虫害	備考 (耕種の防除の実施等)		
9月中旬	は種	オオタバコガ・ハスモンヨトウ                灰色カビ病・菌核病	パレード20フロアブル (1)	100倍 (育苗期後半～定植当日)	菌核病・すそ枯れ病			
10月上旬	定植		選択	プレバソフロアブル5(1)	100倍 (育苗期後半～定植当日)	オオタバコガ・ハモグリバエ類・ハスモンヨトウ	ジュリポフロアブルについては2成分カウントになるので注意	
			ジュリポフロアブル(2)	200倍 (育苗期後半～定植当日)	オオタバコガ・ハモグリバエ ハスモンヨトウ・ヨトウムシ カブラガ・アブラムシ			
			カセット水和剤(2)	1000倍 (収穫7日前)	腐敗病 斑点細菌病 軟腐病	すそ枯れ病の発生の多い場合はバリアンシ液剤5(1)を800倍にて使用		
			ディアナSC(1)	2500~5000倍 (収穫前日)	オオタバコガ・ハスモンヨトウ	オオタバコガ・ハスモンヨトウ・ハモグリバエの発生が多い場合はプレバソフロアブル5(1)を2000倍にて使用		
			アファーム乳剤(1)	1000~2000倍 (収穫3日前)	オオタバコガ・ハスモンヨトウ	オオタバコガ・ハスモンヨトウの発生が多い場合はエスマルクDF(0)を1000倍にて使用		
10月中旬			選択	プレオフロアブル(1)	1000倍 (収穫7日前)	ハモグリバエ		
10月下旬				ウララDF(1)	2000倍 (収穫前日)	アブラムシ類		
11月上旬				コルト顆粒水和剤(1)	4000倍 (収穫前日)	アブラムシ類	アブラムシの発生の多い場合はウララDF(1)を2000倍にて使用	
11月中旬			選択	ヨネポン水和剤(1)	500倍 (収穫14日前)	べと病・軟腐病 腐敗病・斑点細菌病	べと病の発生の多い場合はアミスター20フロアブル(1)を2000倍にて使用  ナメクジの発生前にスラゴ(0)を株基に使用	
			レーバソフロアブル(1)	2000倍 (収穫7日前)	べと病			
			フォリオゴールド(2)	800倍 (収穫14日前)				
			オロンディスウルトラSC(2)	2000倍 (収穫7日前)				
			ランネット45DF(1)	1000倍 (収穫21日前)	オオタバコガ・ヨトウムシ・アブラムシ類・ナメクジ類			
11月下旬			選択	フェニックス顆粒水和剤(1)	2000倍 (収穫前日)	オオタバコガ・ハスモンヨトウ	化学合成農薬9成分の範囲で、本表に記載の薬剤から選択することとする。	
			スミブレンド水和剤(2)	1000~2000倍 (収穫7日前)	灰色かび病・菌核病			
			ファンタジスタ顆粒水和剤(1)	2000~3000倍 (収穫3日前)				
12月	収穫		※ ( ) 内は化学合成農薬成分数					
1月								

☆みんなで守ろう生産基準

もっと安心農産物 レタス (ハウス冬どり) 栽培暦 (令和5年度)

J A きみつ

1. 土づくり

・完熟堆肥を投入するか、ふすまを利用した土壌還元消毒を実施する

2. 施肥 ☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守 (①~③の肥料を1つ選択する)

☆化学合成肥料10aあたり12kgまで

	肥料名	施肥量
基肥	① スーパー有機ペレット555 (5-5-5) (有機態窒素 5)	480kg以下
	② スーパー有機ペレット888 (8-8-8) (有機態窒素 3.4)	240kg以下
	③ ジシアン有機特806 (8-10-6) (有機態窒素 2.5)	200kg以下
基肥	セルカ又は硫マグ(土壌診断にもとづいて施用する)	100kg(目安)

3. 防除 化学合成農薬：9成分回数まで Zボルドー (500倍) は含まれません

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施等)
9月中旬	は種  定植		パレード20フロアブル(1)	100倍 (育苗期後半~定植当日)	菌核病・すそ枯れ病	
下旬			プレバソフロアブル5(1)	100倍 (育苗期後半~定植当日)	オオタバコガ・ハスモンヨトウ	ジュリボフロアブルについては2成分カウントになるので注意
10月上旬			ジュリボフロアブル(2)	200倍 (育苗期後半~定植当日)	オオタバコガ・ナメクジ ハスモンヨトウ・ヨトウムシ カブラガ・アブラムシ類	
中・下旬						
11月上旬	収穫↓	オオタバコガ・ハスモンヨトウ  ↓ 灰色カビ病・菌核病	レーバスフロアブル(1)	2000倍 (収穫7日前)	べと病	オオタバコガ・ハスモンヨトウ・ナメクジの発生が多い場合はプレバソフロアブル5(1)を200倍にて使用 オオタバコガ・ハスモンヨトウの発生が多い場合はスラゴDF(0)を1000倍にて使用
11月上旬			オロンディスウルトラSC(2)	2000倍 (収穫7日前)		
			フォリオゴールド(2)	800倍 (収穫14日前)		
中・下旬			アフーム乳剤(1)	1000~2000倍 (収穫3日前)	オオタバコガ・ナメクジ ハスモンヨトウ	ナメクジの発生前にスラゴ(0)を株基に使用
			ディアナSC(1)	2500倍 (収穫前日)	オオタバコガ・ハスモンヨトウ ナメクジ	
			ウララDF(1)	2000倍 (収穫前日)	アブラムシ類	アブラムシの発生が多い場合はウララDF(1)を2000倍にて使用
12月上旬	収穫↓	灰色カビ病・菌核病	スミブレンド水和剤(2)	1000~2000倍 (収穫7日前)	灰色カビ病・菌核病	べと病の発生が多い場合はアミスター20フロアブル(1)を2000倍にて使用
中旬			ファンタジスタ顆粒水和剤(1)	2000~3000倍 (収穫3日前)		
下旬						軟腐病・腐敗病の発生前にZボルドー(0)を使用
1月上旬			※ ( ) 内は化学合成農薬成分数			化学合成農薬9成分の範囲で、本表に記載の薬剤から選択することとする
中・下旬						

☆みんなで守ろう生産基準